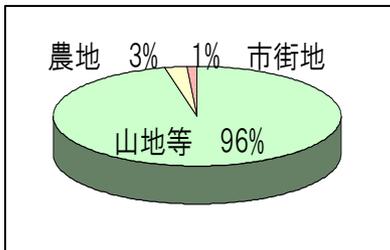


- 小瀬川は、その源を中国山地の鬼ヶ城山(標高1,031m)、羅漢山(標高1,190m)などを要する連山の広島県廿日市市飯山に発し、途中玖島川を合わせて、広島県・山口県の県境を南下し、瀬戸内海に注ぐ、流域面積340km²、幹川流路延長59kmの一級河川
- 流域の約96%を山地等が占め、江戸後期以降の干拓・埋め立てによって形成された河口部の低平地に人口・資産が集中



流域及び氾濫域の諸元

流域面積	: 340km ²
幹川流路延長	: 59km
流域内人口	: 約2万4千人
想定はん濫区域面積	: 約9km ²
想定はん濫区域内人口	: 約2万3千人
想定はん濫区域内資産	: 約4,600億円
主な市町村	: 廿日市市、大竹市、岩国市、和木町

(※) 出典：平成17年河川現況調査 (H17年基準) より

